

伝染性紅斑(りんご病)が増加中!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 6	14	百日咳	↓ 1	6
RSウイルス感染症	↑ 4	1	ヘルパンギーナ	↑ 130	120
咽頭結膜熱	→ 20	20	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 35	50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 78	75	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 340	422	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 30	32
水痘	↑ 19	14	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 393	369	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 33	27	マイコプラズマ肺炎	↓ 1	2
突発性発しん	↓ 33	42	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 熊本、水俣、菊池、八代、天草、山鹿、宇城

伝染性紅斑 : 人吉
 ヘルパンギーナ : 天草、菊池
 百日咳 : 水俣
 流行性耳下腺炎 : 人吉

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所			4	29	68	3	147	8	12		24	3		30		1	1		
山鹿保健所			2		34		6		1		2		*	*					
菊池保健所	1		9	13	77	2	72	6	4		36	3							
阿蘇保健所				3	5								*	*					
御船保健所				1	18		7						*	*					
八代保健所					27	1	43	1	1		11	1							
水俣保健所		4				3	29	1			1		*	*					
人吉保健所				2	14	2	8	9	3		11	23	*	*					
有明保健所	3		1	10	69	1	16		7		6	4							
宇城保健所			2	14	17	2	34	7	1		15	1	*	*					
天草保健所	2		2	6	11	5	31	1	4	1	24								
計	6	4	20	78	340	19	393	33	33	1	130	35	0	30	0	1	1	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

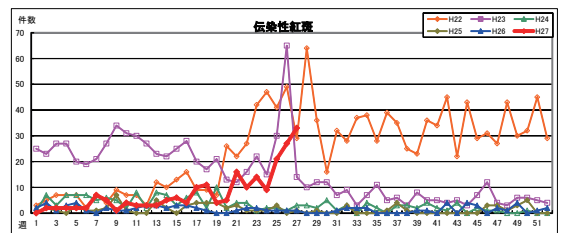
インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	6	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	20	0	1	12	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	78	0	1	2	8	6	6	13	10	7	7	9	6	1	2						
感染性胃腸炎	340	3	25	45	34	37	28	26	22	16	23	12	36	10	23						
水痘	19	0	2	4	4	4	2	1	1	1	0	0	0	0	0						
手足口病	393	2	47	135	70	66	34	16	12	6	5	0	0	0	0						
伝染性紅斑	33	0	0	3	2	0	8	5	2	2	2	3	6	0	0						
突発性発しん	33	0	17	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	130	0	24	55	12	17	6	8	2	3	1	1	1	0	0						
流行性耳下腺炎	35	0	0	4	5	4	11	4	2	0	4	0	1	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	30	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	7	5	5	4	1	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

伝染性紅斑(りんご病)が増加しています

伝染性紅斑は、5歳~9歳の学童に最も多く発生し、ついで0~4歳に多く見られる感染症です。本県においては、6月頃から増加しており、全国的にも多く発生しています。

伝染性紅斑は、頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。頬に発疹が出る7~10日くらい前に、微熱やかぜ症状などが見られることが多く、この時期、咳をした時のしぶきやくしゃみで感染します。発疹が現れ、頬が赤くなる頃には、感染力はほぼ消えています。1週間くらいで治まることが多いですが、大人がかかると関節痛や関節炎をおこすことがあります。

妊婦の場合、感染すると産産の可能性もありますので、流行時には人混みを避けて、手洗い励行などの対策をとりましょう。



手洗いをしっかりとって予防しましょう!

